

# WOWOW 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和崎 信哉

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長 (氏名) 大熊 和彦

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,716	0.1	5,127	11.4	5,378	6.9	3,405	17.4
23年3月期第2四半期	32,672	0.3	4,603	2.3	5,033	11.1	2,900	△9.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,190百万円 (26.5%) 23年3月期第2四半期 2,522百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	23,614.63	—
23年3月期第2四半期	20,108.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	50,253	28,831	57.0
23年3月期	46,203	26,237	56.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 28,636百万円 23年3月期 26,036百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期期末配当金(予想)4,000円00銭の内訳:普通配当 3,000円00銭、記念配当 1,000円00銭

詳細は、本日公表いたしました「記念配当の実施に伴う平成24年3月期(2011年度)配当予想の修正に関するお知らせ」及び本決算短信添付資料をご参照ください。

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	1.6	4,000	△29.0	4,300	△29.6	2,300	△27.0	15,947.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日公表いたしました「平成24年3月期(2011年度)通期業績の修正に関するお知らせ」及び本決算短信添付資料をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	144,222 株	23年3月期	144,222 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	144,222 株	23年3月期2Q	144,222 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成23年10月28日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 販売の状況 .....	12
(2) 四半期個別業績情報（参考） .....	12
(3) 配当予想の修正 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により景気全体が依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられます。しかしながら、円高や世界経済の減速懸念などにより、先行き不透明な状況が続いております。

放送業界におきましては、広告市況は東日本大震災の影響による落ち込みから回復基調にありますが、依然として厳しい状態が続いております。一方、放送の完全デジタル化に伴うデジタルテレビの普及や、平成23(2011)年10月以降のBSデジタル放送の多チャンネル化により、有料放送市場は拡大が期待されております。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における収支の状況は、震災の影響、アナログ放送の停波等により、有料放送収入は対前年同期比で減少したものの、デジタル放送移行対応業務受注の増加等により、売上高は327億16百万円と前年同期に比べ44百万円(0.1%)の増収となりました。平成23(2011)年10月からの3チャンネル化に伴い計画する費用増に鑑み、販売費及び一般管理費の節減に努めた結果、営業利益は51億27百万円と前年同期に比べ5億24百万円(11.4%)の増益となり、経常利益は53億78百万円と前年同期に比べ3億45百万円

(6.9%)の増益となりました。四半期純利益は34億5百万円と前年同期に比べ5億5百万円(17.4%)の増益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次の通りです。

## &lt;放送&gt;

当第2四半期連結累計期間は、アナログ契約のお客さまのデジタル移行を完了し、平成23(2011)年7月24日正午を以ってアナログ放送を終了、平成23(2011)年10月開始となるフルハイビジョン・3チャンネル放送開始に向けて一層のプログラム強化を図るとともに、「WOWOWプライム」、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」3チャンネル編成のコンセプト・魅力をお客さまに伝えるため、各種プロモーションに注力しました。

オリジナル番組としては、第145回直木賞を受賞した「下町ロケット」を連続ドラマWとして放送し、お客さまからの高い評価を得たほか、ドラマW「死刑基準」を放送しました。「下町ロケット」では動画配信サイトやSNSとの連動企画を通じてお客さまとのコミュニケーション拡大を図り、開局20周年記念番組 連続ドラマW「パンドラⅢ 革命前夜」のスピノフ・ミニドラマを(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモと共同製作し、スマートフォンやタブレット端末向けに配信を行いました。

話題性のある番組としては、福山雅治の沖縄ライブや、COMPLEXのチャリティーライブを編成したほか、「全米オープンテニス」等の世界トップレベルのスポーツを放送し、新規加入を牽引しました。

映画製作では、WOWOW FILMS「マイ・バック・ページ」、WOWOW FILMS提供作品「未来を生きる君たちへ」を公開しました。

営業施策としては、アナログ放送をご契約のお客さまにダイレクトメール、電話などでデジタル放送のご契約を働きかけ、アナログ契約終了までにお申し込みいただけなかった方に対し、同取組みを継続しました。また、「映画はクラシックだ！」等のスマートフォン、タブレット端末上のアプリケーションを通じて当社が放送するコンテンツへの気づきを高めるなど、お客さまとの接点増加のための施策を推し進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は312億20百万円と前年同期に比べ1億76百万円(0.6%)の増収、セグメント利益は46億44百万円と前年同期に比べ6億16百万円(15.3%)の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表の通りとなりました。デジタルダブル契約(注)は、当第2四半期末時点において297,622件(前年同期に比べ56,469件の増加)となっております。

(注) デジタルダブル契約とは「同一契約者による2つ目のデジタル契約」を指し、割引料金(月額2,415円の視聴料金を945円に割引。金額は税込み)を適用しております。

契約種別	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	デジタル移行件数	累計正味加入件数
アナログ	2,515	87,201	△84,686	△64,675	—
デジタル	299,750	293,462	6,288	64,675	2,433,303
合計	302,265	380,663	△78,398	—	2,433,303
(対前年同期増減率)	(△18.3%)	(0.9%)	(—)	—	(△2.0%)

(注) 当社は平成23(2011)年6月30日を以ってアナログ有料放送サービスを終了しておりますため、当第2四半期末より契約種別の前年同期増減率を記載しておりません。

<テレマーケティング>

連結子会社の株)WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。東日本大震災による自粛ムード等を受けたアウトバウンド業務等の受注減少により、当第2四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は33億88百万円と前年同期と比して89百万円(△2.6%)の減収となり、セグメント利益は4億94百万円と前年同期と比して94百万円(△16.0%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、502億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億49百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産で機械及び装置が増加し、流動資産で番組勘定が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、214億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億55百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で買掛金、その他流動負債が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、288億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億93百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント上昇し、57.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ3億22百万円減少し、76億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は28億24百万円(前年同期比23億円増)となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益53億70百万円及び減価償却費11億25百万円の計上等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額22億15百万円及び法人税等の支払額16億45百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は24億96百万円(前年同期比19億95百万円増)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出21億44百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は5億96百万円(前年同期比1億44百万円増)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億76百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は平成23(2011)年5月13日に平成24年3月期第2四半期(累計)及び通期業績予想を公表しましたが、10月21日に平成24年3月期第2四半期(累計)業績予想を修正の上、10月28日に平成24年3月期通期業績予想を修正しております。

放送セグメントにおいて、東日本大震災の影響により解約件数の増加及び新規加入獲得の鈍化に伴う売上高の減少を見込んでおりましたが、当該影響が当初予想より軽微であったこと及び視聴料を据え置いた上での当社フルハイビジョン・3チャンネルプログラムへの期待感を反映し、現時点までの正味加入件数が当初想定より良化していること並びに円高による番組調達コストの減など効率的な費用投下により、平成23(2011)年5月13日に発表した第2四半期(累計)予想数値と比して増収・増益となる見込みとなりましたので、第2四半期(累計)業績予想を上方修正いたしました。また当該計数の良化が通年寄与し、通期予想と比して増収増益となることを見込まれますため、通期の連結業績予想数値を上方修正いたしました。

以上を反映した連結業績予想は本決算短信「3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)」に記載しておりますが、平成23(2011)年5月13日に公表いたしました連結業績予想との差異は以下の通りです。

<第2四半期（累計）業績予想の修正>

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想（A）	31,900	4,000	4,100	2,500
今回修正予想（B）	32,700	5,100	5,350	3,400
増減額（B－A）	800	1,100	1,250	900
増減率（％）	2.5	27.5	30.5	36.0

<通期業績予想の修正>

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	65,500	2,000	2,100	1,200
今回修正予想（B）	67,000	4,000	4,300	2,300
増減額（B－A）	1,500	2,000	2,200	1,100
増減率（％）	2.3	100.0	104.8	91.7

上記修正の基礎となる平成24年3月期（2011年度）通期の加入件数予想修正数値は以下の通りです。

（単位：千件）

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
前回発表予想（A）	760	730	30	2,542
今回修正予想（B）	750	670	80	2,592
増減（B－A）	△10	△60	+50	+50

なお、同様の理由により、通期の個別業績予想数値も上方修正しております。詳細につきましては、本第2四半期決算短信添付資料12ページ「4. 補足情報（2）四半期個別業績情報（参考）② 個別業績予想」をご参照下さい。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店に関わるリスク
- ③ B S（放送衛星）利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ [削除・次頁参照]
- ⑥ B－C A Sカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑦ コンテンツに関わるリスク
- ⑧ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑨ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑩ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑪ [削除・次頁参照]
- ⑫ [削除・次頁参照]
- ⑬ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑭ 為替レートの変動に関するリスク

当社は平成23(2011)年7月24日にBSアナログ放送を終了いたしましたため、当社グループは、上記及び第27期有価証券報告書「第2 事業の状況 4 事業等のリスク」並びに平成23年3月期決算短信添付資料「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」において、⑤、⑪、⑫に記載されたアナログ放送に関するリスクを認識しておりません。また、当社グループは、当該リスクは顕在化することなく、経営に重大な悪影響を与えていないものと認識しております。

なお、「放送法等の一部を改正する法律」(平成22年法律第65号)が平成23(2011)年6月30日に施行されたことに伴い、第27期有価証券報告書「第2 事業の状況 4 事業等のリスク」及び平成23年3月期決算短信添付資料「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」において、「⑩ 放送関連法制度に関わるリスク」に記載した「デジタル委託放送業務認定」の名称が「基幹放送の業務認定」に変更されております。

各リスク項目の詳細につきましては、平成23年3月期決算短信(平成23年5月13日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ(IR資料室))

[http://www.wowow.co.jp/co\\_info/ir/ref/](http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/)

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,924	7,602
売掛金	2,912	3,398
番組勘定	12,929	15,198
貯蔵品	99	45
その他	2,004	2,056
貸倒引当金	△184	△161
流動資産合計	25,686	28,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,976	1,996
機械及び装置（純額）	1,728	5,263
その他（純額）	2,769	987
有形固定資産合計	6,474	8,246
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
のれん	42	31
その他	2,013	2,032
無形固定資産合計	7,067	7,076
投資その他の資産		
投資有価証券	5,698	5,645
その他	1,353	1,218
貸倒引当金	△76	△73
投資その他の資産合計	6,975	6,790
固定資産合計	20,517	22,113
資産合計	46,203	50,253



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,649	12,567
未払法人税等	1,599	1,849
賞与引当金	63	58
機械設備撤去費用引当金	63	62
その他	5,078	5,431
流動負債合計	18,454	19,968
固定負債		
退職給付引当金	1,224	1,257
その他	287	195
固定負債合計	1,511	1,453
負債合計	19,966	21,422
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	18,612	21,441
株主資本合計	26,350	29,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	67
繰延ヘッジ損益	△359	△610
その他の包括利益累計額合計	△313	△542
少数株主持分	200	194
純資産合計	26,237	28,831
負債純資産合計	46,203	50,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	32,672	32,716
売上原価	15,361	15,618
売上総利益	17,310	17,098
販売費及び一般管理費	12,707	11,970
営業利益	4,603	5,127
営業外収益		
受取利息	2	1
持分法による投資利益	179	72
為替差益	221	82
その他	30	99
営業外収益合計	434	255
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	4	4
営業外費用合計	4	4
経常利益	5,033	5,378
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8	—
契約解除料返還益	31	—
特別利益合計	40	—
特別損失		
固定資産除却損	2	5
投資有価証券評価損	200	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
特別損失合計	247	8
税金等調整前四半期純利益	4,825	5,370
法人税、住民税及び事業税	1,802	1,892
法人税等調整額	107	58
法人税等合計	1,909	1,950
少数株主損益調整前四半期純利益	2,915	3,419
少数株主利益	15	14
四半期純利益	2,900	3,405

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,915	3,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	21
繰延ヘッジ損益	△355	△173
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△76
その他の包括利益合計	△393	△229
四半期包括利益	2,522	3,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,506	3,176
少数株主に係る四半期包括利益	15	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,825	5,370
減価償却費	993	1,125
のれん償却額	10	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
機械設備撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	—	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△163	33
受取利息及び受取配当金	△18	△16
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	75	53
持分法による投資損益 (△は益)	△129	△14
固定資産除却損	2	5
投資有価証券評価損益 (△は益)	200	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△472	△485
前受収益の増減額 (△は減少)	△1,293	△82
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,044	△2,215
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,992	1,001
未払消費税等の増減額 (△は減少)	55	27
その他の資産の増減額 (△は増加)	△377	△204
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,085	△125
小計	1,713	4,454
利息及び配当金の受取額	18	16
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,208	△1,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	523	2,824
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△399	△2,144
無形固定資産の取得による支出	△120	△429
投資有価証券の取得による支出	—	△19
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付金の回収による収入	—	0
敷金及び保証金の差入による支出	—	△20
敷金及び保証金の回収による収入	17	117
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△501	△2,496
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
割賦代金の支払による支出	△1	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3	—
配当金の支払額	△432	△576
少数株主への配当金の支払額	△14	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△451	△596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	△53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△505	△322
現金及び現金同等物の期首残高	6,982	7,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,476	7,602

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,044	1,627	32,672	—	32,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,849	1,849	△1,849	—
計	31,044	3,477	34,521	△1,849	32,672
セグメント利益	4,027	588	4,616	△13	4,603

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△13百万円には、のれん償却額△10百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,220	1,496	32,716	—	32,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,892	1,892	△1,892	—
計	31,220	3,388	34,608	△1,892	32,716
セグメント利益	4,644	494	5,138	△10	5,127

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△10百万円には、のれん償却額△10百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 販売の状況

##### ① 売上高実績

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次の通りです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
放送	31,220	100.6
テレマーケティング	1,496	91.9
合計	32,716	100.1

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3. 放送セグメントには有料放送収入29,611百万円を含んでおります。

##### (2) 四半期個別業績情報 (参考)

##### ① 個別経営成績 (累計) ・ 個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,180	0.6	4,618	15.6	5,246	14.7	3,490	28.4
23年3月期第2四半期	30,990	0.2	3,995	△1.7	4,575	3.2	2,717	△17.8

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期第2四半期	45,310	24,342		
23年3月期	40,895	21,581		

(注) 個別経営成績 (累計) 及び個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

##### ② 個別業績予想

本四半期決算短信3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しました通り、平成24年3月期 (2011年度) の第2四半期 (累計) 及び年度個別業績予想を修正しております。修正後の業績予想並びに平成23 (2011) 年5月13日に公表した業績予想との差異は以下の通りです。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
24年3月期	63,700	1.9	3,800	△19.9	2,200	△9.3	15,254	26

##### < 第2四半期 (累計) 業績予想の修正 >

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	30,400	4,100	2,675
今回修正予想 (B)	31,100	5,200	3,400
増減額 (B-A)	700	1,100	725
増減率 (%)	2.3	26.8	27.1

<通期業績予想の修正>

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	62,200	1,700	1,100
今回修正予想 (B)	63,700	3,800	2,200
増減額 (B-A)	1,500	2,100	1,100
増減率 (%)	2.4	123.5	100.0

(3) 配当予想の修正

当社は平成23(2011)年4月1日に本放送開始から20周年を迎えると共に、平成23(2011)年10月1日、「第二の創業」とも言えるフルハイビジョン・3チャンネル開局を果たしました。

これまでご支援いただいた株主の皆さまに感謝の意を表するため、1株につき3,000円の普通配当に、開局20周年及びフルハイビジョン・3チャンネル開局記念配当1,000円を加えた4,000円の配当を実施する予定とし、配当予想を修正いたしました。

なお、配当金額及び効力発生日等の決定は、平成24年5月開催予定の取締役会にて行う予定です。

以上を反映した配当予想は本決算短信「2. 配当の状況」に記載しておりますが、平成23(2011)年5月13日に公表いたしました年間配当金との差異並びに前期実績との比較は以下の通りです。

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	3,000円	3,000円
今回修正予想	—	4,000円 うち普通配当3,000円 うち記念配当1,000円	4,000円 うち普通配当3,000円 うち記念配当1,000円
前期実績 (平成23年3月期)	0円	4,000円 うち普通配当3,000円 うち記念配当1,000円	4,000円 うち普通配当3,000円 うち記念配当1,000円

(注) 平成23年3月期は、一部市場上場記念配当を実施しております。